

1 学校評価（生徒・保護者・教職員）アンケート結果

・別紙資料を参照しながら以下をご覧ください。

2 学校評価（自己評価）

本校教育目標	「夢・愛・自立」 ～Dreams come true! ～	
目指す生徒像	(1) 課題をもち、進んで学習する生徒	【知】
	(2) さわやかで、思いやりのある生徒	【徳】
	(3) 健康で、たくましく心身を鍛える生徒	【体】

(1) 全般を通して (※アンケート問1~2)

「楽しく学校に通っている」という肯定的な意見の割合がいずれも昨年度より向上して改善が見られた。要因の1つとして、今年度本校は県のキャリア教育実践校となり、特別活動に力を入れ取り組んでいることが挙げられる。生徒の主体性や他者との話し合う力や協働して成し遂げる力の向上を目指し、学級会や、イベントの企画・運営をする取り組みを行っている。これらを通して、生徒に「自分たちの学校」という意識を育てたいと考えている。

一方で、「夢や目標を持って生活している」と答えた生徒の割合は、昨年度より下がってしまっているため、今後進路指導に力を入れ、自分の将来について具体的に考える機会を多く設けるとともに、計画を立てて毎日確実に実行していくという計画性を持たせたい。そして、「コツコツやればできる」という充実感と、「誘惑に負けずにやることをやる」という自己コントロール力を高めていきたい。

【学校運営協議員から】

- 昨年度より「楽しく学校に通っている生徒」が増えていることは、日々の教育活動の成果であると思います。小さな目標の積み重ねを継続できるよう支援していただきたいです。
- 問1の学校を楽しんでいるかどうかは、交友関係の影響が大きいのではないかと考えます。
- 将来の夢や希望に関しては、生徒・保護者とも約3分の1が否定的な回答をしているのがやや気になる。キャリア教育における職業に関する学習とともに、自己肯定感をもたせることや自己の特性、興味・関心などをしっかり見つめる機会を意図的に設けることなどについて、さらにご努力いただくことも大切かと感じた。
- 夢や目標について、生徒が将来を展望できるよう適切な助言・指導や日々の積み重ねから夢や目標が叶う成功体験など、家庭と学校が協調して取り組んでいくことが大切である。
- 生徒の自信や充実感・自己肯定感を高める取り組みは継続していただき、授業や行事を通して生徒が良好な人間関係を築けるよう手助けをしていただきたい。
また、休みがちな生徒や授業を受けられない生徒への精神的ケアを充実させる必要があると感じます。

(2) 学習面について (※アンケート問 3~6)

「授業のわかりやすさ」については、昨年度より向上し、おおむね良好であった。特に授業でのICT (Information and Communication Technology 情報通信技術) 活用は日常的に行われ、教職員、生徒とも機器の取扱いに慣れてきている。また、生徒が話す・聞く・考えるなどの活動時間を教師が意図的に増やしていることも効果が出ている。今後は、生徒の主体性を引き出す教師のコーディネート力、評価力、コメント力の醸成が必要である。

一方で、「家庭学習時間」については、昨年度よりも低下しており非常に残念な結果であった。家庭で毎日平均2時間以上勉強している生徒が6割、家でも読書に親しんでいる生徒が半数程度しかおらず、目指す生徒像の「課題をもち、進んで学習する生徒」の姿には不十分な結果と言える。今後家庭学習について、授業、家庭と連携して改善していく。

【学校運営協議員から】

- わかりやすい授業に対する取り組みが評価として表われているように思う。
- 授業のわかりやすいことは、先生方の授業への工夫と生徒の学ぶ姿勢が良い方向に向いていると思う。授業での話し合う活動により表現力の向上する事が期待できる。
- 質問3の授業のわかりやすさについて、子どもの授業内容に対する理解度と授業ペースがあっていない為、否定的な評価が増えたのではないかと考えます。
- わかりやすさを教科別に調査して、特定の教科に偏りが見られる場合にはそこに特化して改善を図ることも必要かと思えます。
- 質問③保護者評価とのズレがみられるが、生徒自身はわかりやすいと思っている。話し合いにも積極的に取り組んでいるようですね。学習時間は各評価から残念と言わざるを得ません。読書は、ほぼ半数は家庭での読書習慣がない結果は残念。読書習慣化の指導を望みます。
- 中学生でも家庭学習の定着化が伸びないのは心配です。小学生のうちから習慣づければ良いのかも。30分でも1時間でも。
- 家庭学習や読書の習慣化ができにくい環境については、検討する必要があるのではないかと思います。例えば、予習、復習の仕方や本の紹介等、教師のアドバイスや家庭環境のあり方等、学習に取り組みにくい原因及び改善策はないか。
- 家庭学習や読書の習慣は、将来の夢や目標に大きな影響を与えることから、知識を得ることが楽しいと思えるような環境になるよう取り組みをお願いします。

(3) 礼儀・思いやりについて (※アンケート問 7~9)

「気持ちの良いあいさつをする」、「社会のきまりを守る」、「思いやりを持って接する」については、昨年度より向上しておおむね良好な結果であった。特にあいさつは、生徒会や部活動を通じて生徒から生徒へと、また日々の先輩の姿から後輩へと受け継がれ、「さわやかで、思いやりのある生徒」の育成に良い影響を与えている。一方で、保護者や教職員など大人から見ると、まだまだ改善の余地があると言える。生徒に言動を振り返らせるとともに、大人も意識して見本を見せていきたい。

【学校運営協議員から】

- あいさつはしっかりしています。
- 礼儀・思いやりについてはほとんどの項目で生徒・保護者・教職員が肯定的な回答をしており、大変望ましい。こういった中学生の姿が小学生の手本となっていることに気づかせ、先輩としてのプライドを持って生活してほしいと願っている。ただ、

あいさつについての保護者の評価がやや低いことが気になるが、学校からのコメントにもあるようにモデルとしての「大人」の姿についても機会をとらえて保護者と共有したい。

- 部活動や生徒会活動等様々な場面で先輩後輩間の礼儀、思いやりを、もっと言動、行動ができるよう育成をお願いしたい。
- 自然体であいさつできるように、引き続き改善を図りながら取り組んでいただきたい。

(4) 健康・運動について (※アンケート問 10~13)

健康面については、「バランスのよい食事」については向上が見られたが、「めあてを持った運動」や「メディアコントロール」において、昨年度より低い結果となった。目指す生徒像の「健康で、たくましく心身を鍛える生徒」の姿としては、不十分な結果と言える。どちらも強い目的意識と自己コントロール力が必要であり、小さな目標から実践を積み重ね、この力を育てなければならないと考えている。

生徒に対しては、科学的根拠に基づいた正しい知識を基に改善を促し、良い生活習慣は健康維持にとっても有用であることを根気強く伝えていく必要がある。特にメディアコントロールについては、今後の生活を考える上でも現状に危機感を感じている。家庭での学習時間、読書、運動、睡眠いずれにも関わるため、ネット依存症にならないよう継続して家庭と連携し改善に努めていきたい。

【学校運営協議員から】

- 家庭での生活で評価が低いところがあるが、昨年より改善している。
- メディアコントロールができていない生徒が多いので、自己コントロール力を早い段階から身につけさせたい。そのためには、家庭の力が必要であると思います。3年生が部活動を卒業したあとの運動習慣も大切であると思います。
- 睡眠・バランスの良い食事・運動いずれの項目についても生徒・保護者の否定的な回答割合が比較的高く、成長期における生活習慣として心配である。
- 睡眠不足がやや多く見て取れます。メディアコントロールとの関連が大きいので、家庭との連携が必須かと思えます。大人もメディアコントロールが必要。
- メディアコントロールについては、大人も依存度が高いと感じている。子どもにルールを守るように求めることから、大人も自分自身を見つめ直して、一緒に改善する意識を持って望むことが必要である。
- 部活動、学習など多忙であることから、規則正しい生活や食事、運動ができないところがあるが、成長期でもあるので守られるよう努める必要がある。
- 家庭での運動習慣は、メディアコントロール同様に保護者の協力も必要と感じます。

(5) 学校運営等について (※アンケート問 14~20)

「生徒の様子をとらえて指導に生かす」、「悩みや相談に対して親身に対応する」、「要望に対しての迅速な対応」について、生徒から高い評価を得ることができた。また、今年度は保護者の評価も数ポイント上昇して改善が見られた。

「教育環境整備」については、安全面を優先として迅速に対応しており、無事故の状態を継続している。また、学校からの情報発信として、ホームページや各種たよりを活用して子どもの活動の様子を見ていただいている。特に修学旅行ではこまめに旅先での生徒の姿をアップしたため、保護者から好評であった。また、今年もPTA会報を地域の回覧板に入れていただき、地域の方にも学校の様子を詳し

く知っていただけるようにした。今後も開かれた学校づくりに努めていきたい。

【学校運営協議員から】

- 生徒の安全を第一に考え、取り組んでいただいていることに感謝します。
- 生徒が悩みを相談できる体制ができており、丁寧に取り組まれているように感じられます。
- 学校運営がスムーズに行われている。家庭と学校、そして地域が協調して生徒の良い面を伸ばせるように学校運営を進めてほしい。
- 高評価だった今年度の学校運営の取り組みや考え方・姿勢を定着させ、先生方が変わったとしても継続できるようにお願いしたい。
- 学校と家庭との連携ができています。
- 学校運営についてはいずれの項目でも保護者・教職員の肯定的な回答が多く、教職員が一丸となって取り組んでいる成果であると感じる。ただ、わずかではあるが、各項目において否定的な回答をしている生徒・保護者がいる。より一層、一人一人の生徒や保護者に寄り添った相談活動などの推進を期待したい。
- 質問⑮生徒・保護者の否定的な回答4%、何か汲み取れるとよいと思います。その他学校運営は基本的に良好と言えます。

(6) 総括

アンケート結果から、教育目標の「夢・愛・自立」の中で「夢」と「自立」の部分に課題がある生徒がいることがわかった。「夢」については、自分で目標を決める経験や、実現のための計画を立て確実に実行する経験が重要である。進路指導で自分を見つめさせ、生徒の「私は～したい。」という想いや願いを引き出して、小さな目標から段階的に達成させて自信を持たせたい。そして、日々確実に計画を実施していくためには自己コントロール力を向上させる必要がある。家庭と連携し、頑張る生徒を叱咤激励して自立の力を育てていきたい。

学習面では、生徒が主体的に活動できるよう工夫改善し、もっと学びたいと意欲が持てるような授業づくりの研究に努めたい。生活面では、人と関わることが楽しいと感じる、いじめのない温かい人間関係作りを進めるとともに、生徒会活動や学級活動で主体的に取り組んでいく姿勢を育てていきたいと考えている。

【学校運営協議員から】

- 生徒達にはできるだけ具体的な目標や人生のビジョンを持ってもらいたいと思う。今の努力が今後の進路に直結するし、人生にも影響があると考え。今の時代、価値観が多様化したり、学習環境等も変化があったりするが、今何をしなければいけないか、今何が大切なのか生徒自身で気づく必要がある。
- 学習面で、家庭での学習時間は習慣化という点では大切なことだと思うが、質で考えていかなければと思う。
- 読書－肯定的な意見が少なく残念。読むことは、学習の第一歩だと思う。図書室の環境も十分でないように思われる。
- 各学校とも学習面だけではなく、生活習慣や人間形成などあらゆる面に対し、一人一人に目を配り、きめ細かな指導が行われていると感じました。また、地域社会との協力や情報配信による教育の見える化に積極的に取り組まれている。引き続き、家庭、地域社会、学校など関係者の協力により教育環境が向上されるよう努めていただきたいと思います。